

北九州

市議会だより

北九州市議会事務局

昭和47年1月1日

No. 36



小倉城と完成間近い市庁舎

新春を迎えて

市民のみなさま、あけましておめでとうございます。

新春を迎え、希望にみちた力強い第一歩を踏み出されたこととお喜び申しあげます。

北九州市も発足以来、困難な諸問題を解決しながら、百万都市にふさわしい、豊かな町づくりに向けて大きく前進しております。

これもひとえに市民各位のご協力ご支援のたまものと心から感謝申しあげる次第でございます。

近代的な都市化を進める中で、解決を急がねばならない重要問題がなお山積しておりますが、本格的な町づくり推進のための中期計画も昨年スタートし、また懸案でありました新市庁舎も、三月に完成する予定でございます。

本年は、北九州市にとっても、飛躍への重大な年であると考えます。

新春を迎え、私共に課せられた職責の重大さをさらに認識し、市民生活の向上と、市政発展のため、一層の努力を続ける覚悟でございます。

今後とも、倍旧のご指導ご鞭撻をお願いたしまして年頭のごあいさついたします。

元旦

北九州市議会

議長 松尾 武

副議長 増田 哲夫

四十六年度補正予算など

三十五件を可決

12月定例会

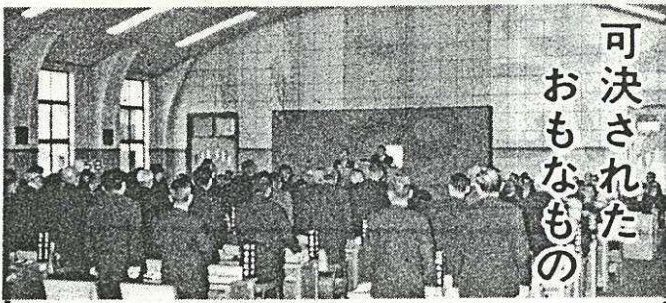
十二月定例会は、十二月七日から五日間の会期で開かれ十一日に終わりました。

提出された議案は、市長提案による四十六年度補正予算を始め、条例改正、専決処分報告など二十九件と、議員提案による発議八件です。

市長提出議案二十九件については、いずれも関係常任委員会それぞれ慎重に審議されたのち、原案どおり可決しました。

また、発議については常任委員会の審議を省略し、本会議最終日に即決した結果、「高等学校通学区改正に関する決議」など六件を可決、二件を否決しました。

なお、北九州港管理組合議会議員の補欠選挙もおこなわれました。



可決された
おもなものの

- ▽昭和四十六年度補正予算
一般会計への追加
八億八、七七一萬三千元
普通特別会計への追加
九億九、六七一萬二千元
- ▽北九州市市税条例の一部改正
地方税法の一部改正に伴い、市街化区域内の農地に対する固定資産税、都市計画税の課税の適正を図るもの
- ▽北九州市清掃条例の一部改正
- ▽北九州市中央卸売市場業務条例
卸売市場法の制定に伴い、市場の健全な運営、生鮮食品等の取引の適正化等を図るため
- ▽北九州市立都市公園条例の一部改正
児童公園などを二十一カ所新設するもの
- ▽北九州都市高速道路新設に関する同意
- ▽昭和四十六年度高層併存公営住宅(日明D・E地区建設工事請負契約締結
工費 三億九、九七〇万円
(四十八年七月完成予定)
- ▽総合体育館新築工事請負契約締結
工費 十一億四、七〇〇万円
(四十八年秋完成予定)
- ▽勤労者会館新築・空調設備・電気工事請負契約締結
工費 七億六、三〇〇万円
(四十八年七月完成予定)
- ▽北九州市病院事業の設置等に関する条例等の一部改正の専決処分
第二松寿園の五診療科目を内科および放射線科に、病床数四〇〇を八十五床に変更したものを土地の取得
第三大原小学校(仮称)用地を買入れるもの

質疑 応答



7日、8日の2日間にかけて、議案に対する質疑や、市政全般についての質問が本会議で行なわれましたので、おもなものを取りあげました。

どう考えているのか

高校通学区拡大問題

議員 県教育委員会の高直通学区拡大実施決定によって、受験生はもとより、父兄も重大な関心を示し、本市でも反対運動が進められている。

通学区の拡大は、受験競争の激化、選択の強制など子供の教育に色々な悪影響を与えると思うが、市教育委員会はどのように考えているのか。

教育長 改正案は原則的にはやむを得ないと考えている。

しかし通学区の移動など現実には生徒、父兄に不安を与えているので、県に対し、今後市全体の進学率向上を図るため、必要学級数の増加、進路指導、人的物的な格差解消など適正な手を打つよう要望している。

市内各区の利害得失が色々分れており、すべてを解消することは不可能だが、志望の事前調査などにより万全を期するよう努力したい。

進路指導は生徒の志望が中心であり、教師が生徒の適正や、能力にあった指導助言をすることは学校選択を強制することではなく、学校として当然取るべきものと考えている。

ポリ袋の無料

配付は続けるのか

議員 市町村は、一般廃棄物の収集、処分などの手数料を条例で徴収できることになっているが、今後、経費の増大、サービス向上などを理由に、ポリ袋などの手数料を徴収するようなことはないか。

またごみ収集業務の委託がふえたと予想されるが、市民サービスの低下にならないか。

市長 ポリ袋の無料配付は今後とも続ける。

ごみ収集方法は、年々ごみがふえており、すべて直営でまかなうことは不可能なので、ある程度委託をまじえながら業務に遺憾のないよう努力したい。

市場運営の近代化を急げ

中央卸売市場

議員 生鮮食品の高騰がいちじるしい今日、市場卸売業者等による不正事件が相次いで起きたが、不正防止のための監督、指導体制は十分なのか。

また、卸売業者を複数制にするとともに、生産者団体を卸売業者として入場させる考えはないか。

市長 市場をめぐる流通機構は複雑であり、色々な商慣習もあるが、新中央卸売市場建設を契機に、業界の協力を得ながら近代化、体質改善、さらには監督指導の強化を図り、市民の台所を豊かにできる市場にしたい。

また、複数制は条例制定を機会に、ただちにすることはかえって混乱をきたすので、新市場での適正複数化を目指し努力する。

生産者の問題も併せて検討したい。

福祉行政の充実を図れ

昭和四十七年度

議員 福祉施策の充実が急務であるが、昭和四十七年度予算編

決議・意見書

12月定例会で、次の決議・意見書が可決されました。

◎公害に係る健康被害の救済に関する特別措置法による指定地域の指定に関する意見書

公害による健康被害救済指定地域の指定を国に要請するもの

◎公営競技に対する課税反対に関する意見書

◎大量高速交通機関建設促進ならびに補助制度の拡充に関する意見書

モノレールおよび地下鉄建設に大幅な助成措置を講ずるよう国に要請するもの

◎学校給食費補助金の増額に関する意見書

◎日米両国政府間繊維貿易協定廃棄に関する意見書

◎福岡県公立高等学校の通学区域改正に関する決議

今回の通学区域の改正は、必要な措置と考えるが、事前の適切な指導等が不足のため生徒、父母教師間に動揺を与えているので今後は、進学指導等に万全の措置と私立高校に対しても必要な援助措置をとること。



開発が急がれる小倉駅北口

成にあたり、老人医療の各種保険者を対象とする完全無料化、敬老年金の年令引下げと金額の引上げ、老人、婦人、子供のための福祉施設の増設など、福祉行政推進のための基本的な考えを伺いたい。

値上げは

さげられないか

水道料金問題

議員 水道料金の値上げが新聞報道によって伝えられ、物価高騰の折から市民に大きな不安を与えている。

市長 すでに他の指定都市に比べ高く、また、値上げはさらに諸物価の高騰に拍車をかけることになり、水道料金についてどのような考えを持っているのか。

市長 財政再建計画が終わるまで値上げをしない約束をし、四年間はすえ置いてきた。

計画が一年早く達成した段階

で、将来の水資源確保、過去の開発に対する金利負担からみて、料金の改定時期にきている。

都市再開発を急げ

小倉駅周辺

議員 都市の再開発が急がれているが、特に北九州の玄関口であり、山陽新幹線の発着駅となる小倉駅の周辺は、せまい駅前広場、

一方通行の実施による交通混雑によってすでに身動きができない状態である。

市道認定に

特別措置を

議員 計画的な町づくりができない地域では、せまい道路にそって無秩序に住宅が建設されているが、周囲が町らしくなっていない過程の中で、このような私道が通学路になったり、消防車の出入りなど、なかば公道的な役割を果しているところが多い。

市長 来年度から、市道の認定手続、基準などは若干条件緩和の方途を講じなければならないと考え、目下検討中である。

建設を急ぐ理由

はなにか

本城市営住宅

議員 八幡区本城の木造市営住宅を取りこわし、跡地に高層・中層アパートの団地にする計画（四十七年～五十二年）が発表され、一部住宅の取りこわしがおこなわれることになっているが、入居者の反対やまだ使用できる住宅を取りこわしてまで建設を急ぐ理由はなにか。

市長 現在の市営住宅の水準からみて建替の時期にきている。北九州市のような土地の少ない所では、市の住宅政策ならびに土地効率の点からも立体的にすることに

補助などによって

値上げをおさえよ

学校給食費

議員 十二月一日から給食費の値上げが実施され、父兄に大きな負担を与えているが、市の補助などをふやすことによって値上げを

なお、入居者とは十分な話し合いをしていきたいと思っている。

常任委員会の 審査から

各常任委員会は、十二月九日から二日間にわたって開かれ、市長提案による議案二十九件を審議しました。各常任委員会とも、問題点について活発な論議がかわされ、慎重に審議した結果、次のような要望事項を付し、いずれも原案のとおり可決しました。

都市化推進のために

積極的な投資を

市街化区域整備

総務財政委員会では、特に「北九州市市税条例の一部改正」案について論議がかわされました。

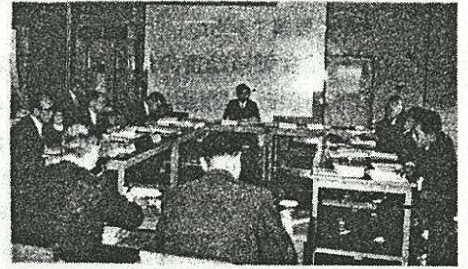
この改正のおもな内容は、地方税法の一部改正に伴い、市街化区域内の農地に対する固定資産税、都市計画税の課税を、三段階に分けて、四十七年度、四十八年度、五十一年度から類似宅地の評価額を参考として、農地としての減額

人事紹介

十二月定例会でつぎのとおり決まりました。

北九州港管理組合議会議員

佐々木 亀



審議中の委員会

しその協力を求めながら実施すること。

一、産業廃棄物の投棄、埋立にあたっては、周囲の環境を破壊しないよう万全を期すること。

また、衛生行政について最近の食品事故増加に関連し、事故防止を図るため衛生研究部門の充実に努力するよう要望しました。

市民生活に密着した

市場運営に努力を

中央卸売市場

経済消防委員会では、特に「北九州市中央卸売市場業務条例」案について論議が集中しましたが、市民生活に密着した生鮮食品等流通の円滑化を図るため、つぎのような要望をしました。

一、不正事件のないよう強力な監視、監督をおこなうこと。

一、新市場開設運営協議会に消費者代表を参加させること。

一、計画出荷の奨励、卸売業者の複数制、生産者団体が卸売業者として参加することなどを検討すること。

一、取引価格の公表など消費行政の充実に努力すること。

協力と理解を

得るための努力を

高速道路計画路線問題

建設交通委員会では、特に「北九州都市高速道路の新設に関する

同意」案に関連し、本会議で市長が答弁した計画路線の変更問題について論議がかわされましたが、当局から、都市計画法上論理的には路線変更はあり得るが、現実には路線を変更することは困難であるとの説明がありました。

委員会としては、路線変更について一部住民の誤解をまねく恐れがあるので、関係住民に十分納得がいく説明をするよう要望しました。

また、市道認定の際、土地を市に無償譲渡するに当たっての土地の測量、登記に要する経費が住民負担となっているが、これらの経費を将来市の負担とする方向で検討するよう要望しました。

地元業者育成の措置を

請負工事

文教建築委員会では、工事請負契約締結議案に関連し、これらの工事にあたっては、地元業者育成の立場から、できるだけ地元業者に発注できる措置をとるよう要望しました。

また、高見小学校で児童が事故死したことに伴う慰謝料請求事件の控訴についても論議がかわされましたが、当局から今後の市全般の学校運営管理上の問題から控訴によって法的責任を明らかにしたいとの説明がありました。

請願

陳情



採択されたもの

○カーブミラー設置について (若松区藤ノ木)

○交通信号機設置について (八幡区引野三丁目)

○横断歩道設置について (門司区長谷町二丁目)

○傷病恩給増額に関する意見書の提出について (八幡区青葉町)

○老人ホーム等の増設について (八幡区桃園団地)

○伏見公園の幼児用遊戯具の増設について (八幡区上津役)

○道路補強およびガードレールの設置について (八幡区若葉一丁目)

○ガードレール設置等について (小倉区青葉町)

○道路舗装について (八幡区上津役)

○側溝舗装等について (門司区田の浦)

○側溝の整備について (小倉区湯川)

○ガードレールおよび歩道の設置について (小倉区石原町)

○道路の改修について (門司区奥田)

○陣山中学校養護教諭の配置について

陳情

採択されたもの

○交通信号機(手動式)の設置について (戸畑区中原地区)

○洞海湾の汚染対策について (戸畑区中原地区)

○香月局(二十六局)電話の市内通話実現について

○側溝整備等について (八幡区香月橋橋学校通り)

○水害安全対策について (徳力山手団地)

○道路舗装について (小倉区市営吉田団地)

○市営弓道場の建設について

○霧ヶ丘小学校の増改築について